

# Power Editor R



## 取扱説明書

TOYOTA GR YARIS [GXPA16] 用

E89671-T10010-00  
2023.12発行  
Ver. 3-1.01

### 1. はじめに

この度は、Power Editor Rをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及び、使用する前に本書をお読みください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付車両を基準に開発されております。以上の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店にお問合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車両型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの車両のみに使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

商品名	Power Editor R
コードNo.	42018-AT020
用途	ターボ車両のブーストアップ
使用可能車種	TOYOTA GR YARIS [GXPA16]

### 2. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

**警告** 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

**注意** 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損) 拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば車両の破損及び焼損])

#### 警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。

#### 注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
- 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 高温になる場所・水などがかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 故障などの修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 本製品をご使用の前に、以下の確認を行ってください。
  - ・ 車両に搭載しているECUが、メーカー純正品であること。
  - ・ ECUのデータがノーマルであること。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
- 車両の修理や車検の際は、本製品を取り外してから、車両を業者に引き渡してください。
- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。

### 3. 本製品の特徴

- ・ 車両のブースト圧センサ及びエアフロセンサの配線に本製品を割込ませることで、簡単にブーストアップすることができます。
- ・ 本製品を装着後でも車種別ハーネスから Power Editor R 本体を外し、代わりに同梱の復帰コネクタを接続することでノーマルの状態に戻すことができます。
- ・ 同梱の USB ハーネスでパソコンと接続し、「Easy Writer for Power Editor R」を使用することで、本体のブーストアップデータ(マップ)を変更することができます。
  - ※ 「Easy Writer for Power Editor R」は同梱していませんので、HKS ホームページからダウンロードしてご使用ください。
  - ※ USB ハーネスを接続する際は、車種別ハーネスに挿さっている防水用コネクタを外してください。セッティングが完了し USB ハーネスを外した後は、防水用コネクタまたはマップ切替えスイッチ用ハーネスを接続してください。



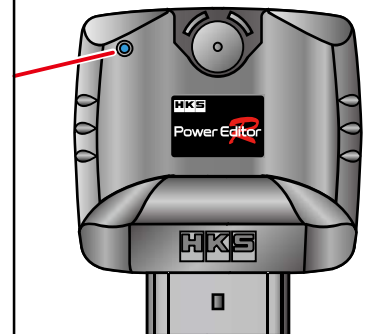
### 4. パーツリスト

1	Power Editor R本体	1ケ
2	車種別ハーネス	1ケ
3	マップ切替えスイッチ用ハーネス	1ケ
4	USBハーネス	1ケ
5	車速信号線	1ケ
6	防水栓	1ケ
7	ギボシ・スリーブ(オス・メス)	各1ケ
8	復帰コネクタ	1ケ
9	タイラップ(小)	5ケ
10	タイラップ(中)	5ケ
11	タイラップ(大)	4ケ
12	タイラップ(特大)	2ケ
13	両面テープ	1ケ
14	タイラップベース	4ケ
15	M4 ネジ	4ケ
16	取扱説明書(日・英)	各1部

### 5. Power Editor RのLED表示

【動作確認用 LED】  
消灯：電源 OFF  
点灯：電源 ON(正常動作)  
連続して点滅：マップデータ破損  
(連続して点滅の時はブースト UP はせず、ノーマル状態と同じ動作となります。)

【マップ切替えスイッチを使用する場合】  
マップ A に切替え時、LED が 1 回点滅  
マップ B に切替え時、LED が 2 回点滅



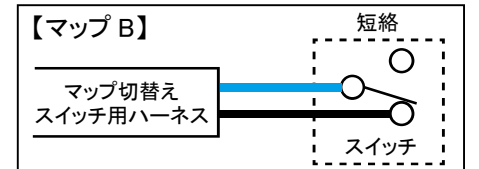
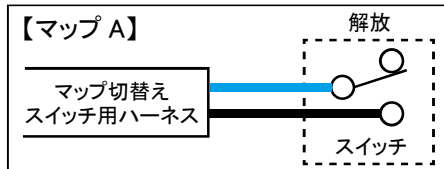
#### 【マップ A・B について】

- ・ マップは A と B の 2 つがあり、マップ切替えスイッチで切替える事ができます。

マップ A	ブーストアップデータ
マップ B	補正なし(ノーマル状態)

※ マップデータの仕様は HKS ホームページで確認してください。

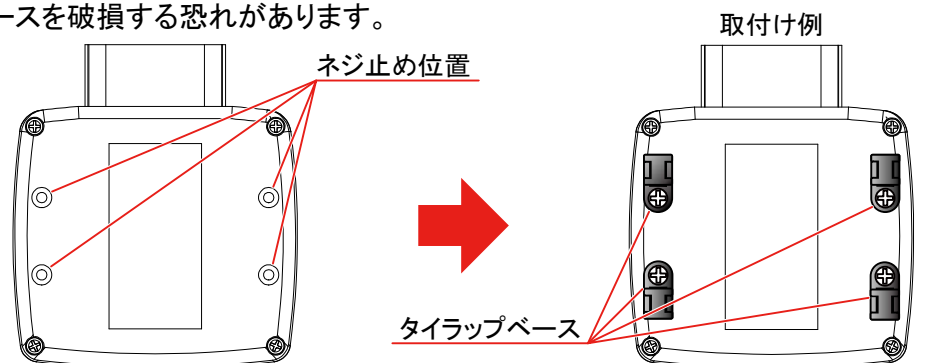
- ・ マップ切替えスイッチ用ハーネスを接続し、青線と黒線を解放するとマップ A、短絡するとマップ B に切替わります。



- ・ マップ B を使用する場合は、マップ切替えスイッチが必要になります。
  - ※ マップ切替えスイッチは同梱していませんので、任意でご用意ください。

### 6. タイラップベースを使用する場合

- ・ タイラップベースを使用する場合、必ず同梱の M4 ネジを使用してください。サイズが合っていないネジを使用するとタイラップベースが外れ易くなったり、ケースを破損する恐れがあります。





## 7. 車種別ハーネスの準備

- 車種別ハーネスは、車速信号線または防水栓を取付けることで完成します。下表を確認し、目的の仕様に合わせて車種別ハーネスを完成させてください。  
※ 作業には 先が 2mm 以下の精密ドライバ(－)が 1 本 又は 2 本 必要です。

車速信号	取付ける部品	機能
使用する	車速信号線	車速補正マップを使用できる ※ 車両側ハーネスの加工及びエンジンルームから車室内への車速信号線の引き込みが必要
使用しない	防水栓	車速補正マップを使用できない

※ 車速補正マップを使用した際の動作は、HKS ホームページで確認してください。

- ① 車種別ハーネスのメインコネクタにはまっているリテーナーのロックを外す。  
・精密ドライバ(－)でリテーナーを持ち上げるようにしてロックを外してください。

※ 精密ドライバを 2 本使用し、左右同時に持ち上げるとロックを外し易くなります。

メインコネクタ

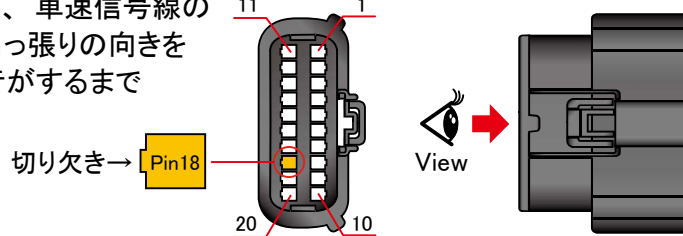
リテーナー

ロックを外すとリテーナーが 2mm ぐらい飛び出る



- ② メインコネクタの Pin18 に車速信号線または防水栓を挿し込む。

・コネクタ穴の切り欠きと、車速信号線の端子または防水栓の出張りの向きを合わせ、「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。



※ 一度奥まで差込むとコネクタ内部でロックが掛かり抜けなくなります。十分注意して作業してください。

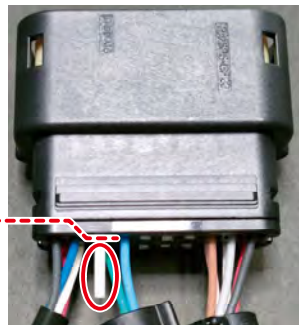
再度抜く場合はリテーナーを完全に取外してからコネクタ内部のロックを外す必要があります。

- ③ リテーナーを元の位置まで押込み、ロック状態にする。

- ④ 防水栓をカットする。

・防水栓を取付けた場合はコネクタから 9mm ぐらい飛び出します。周りの電線に干渉しないよう面位置でカットしてください。

防水栓の飛び出た部分をカットする →



## 8. 取付手順

- ① 車両のエンジンを切り、10 分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。
- ② Power Editor R 本体を任意の場所に設置・固定する。  
※ エンジン本体などの高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置してください。  
※ 設置場所を決める際、Power Editor R に同梱の車種別ハーネスが各センサまで届くことを確認してから固定してください。  
※ 両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。  
両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ Power Editor R 本体と車種別ハーネスを接続する。
- ④ 各センサからセンサハーネスの純正コネクタを取外し、Power Editor R の車種別ハーネスを割込ませるように接続する。  
※ コネクタのロックがしっかり掛かっていることを確認してください。

ハーネスのカラーマーク	接続先	Easy Writer 上の表示
赤色	チャンバ圧センサ	Channel 1
緑色	インマニ圧センサ	Channel 2
青色	エアフロセンサ	Channel 5
白色	IN 側 カム角センサ	REV (マップ軸)

- ⑤ 車速補正を使用する場合は、車速信号線を接続する。  
※ SLD Type I を装着済みの場合は SLD の車速信号入力線(白)に接続してください。
- ⑥ Power Editor R の車種別ハーネスは、走行に支障を来さないよう同梱のタイラップで固定してください。  
※ ハーネスの取り回しは、エンジン本体など高温になる場所を避けてください。
- ⑦ 全てのコネクタが正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。
- ⑧ IG を ON にし、Power Editor R 本体の LED が点灯することを確認する。  
※ IG を ON にしても LED が点灯しない場合は、コネクタの接続不良が考えられます。

## 9. Power Editor R 本体の設置推奨位置と各センサの位置

※ エンジンカバーは取外した状態です。



IN 側 カム角センサ位置



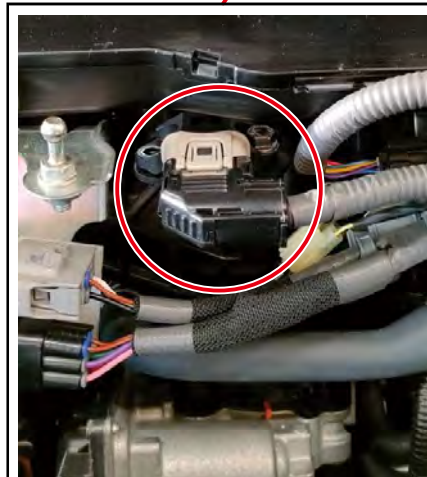
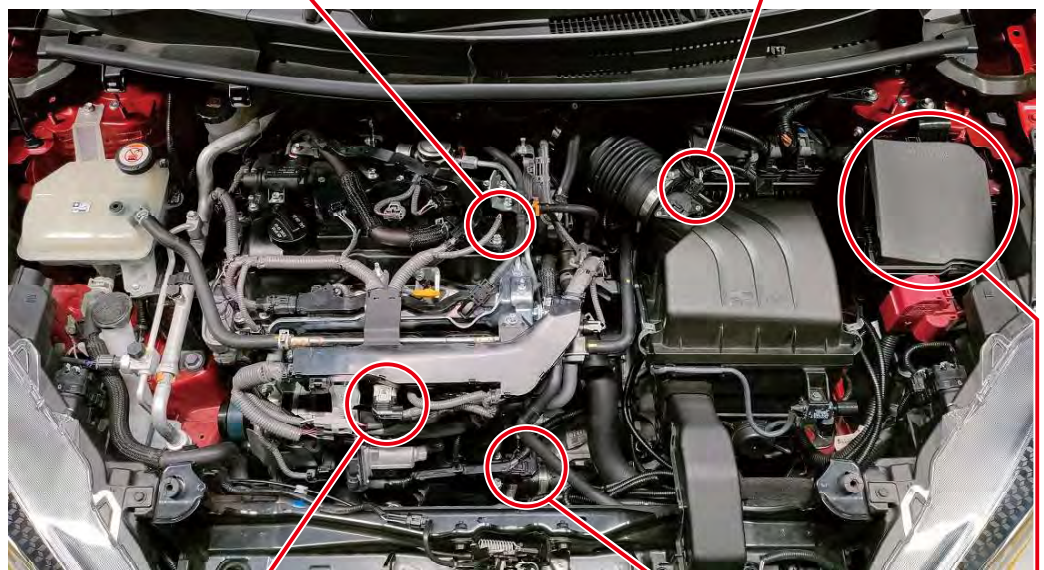
エアフロセンサ位置



車種別ハーネス(白色)を割込み接続



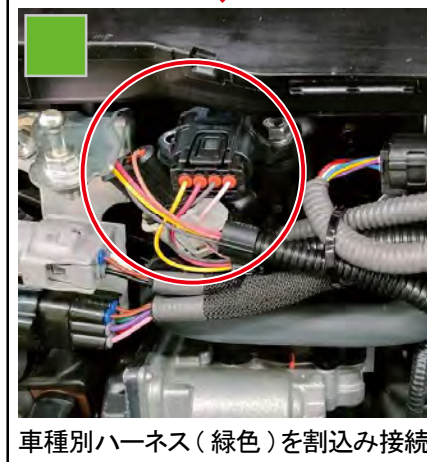
車種別ハーネス(青色)を割込み接続



インマニ圧センサ位置



チャンバ圧センサ位置



車種別ハーネス(緑色)を割込み接続



車種別ハーネス(赤色)を割込み接続

※ 車種別ハーネスで各コネクタのグループ毎にあるカラーマークに合わせて接続する。



車種別ハーネス

カラーマーク

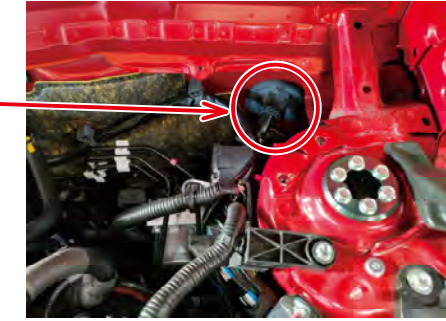


Power Editor R 本体の設置推奨位置



## 10. 車速信号線の配線

- ① 下図のグロメット部分から車速信号線を車内に引き入れる。  
※ マップ切替えスイッチ用ハーネスの場合も同様。



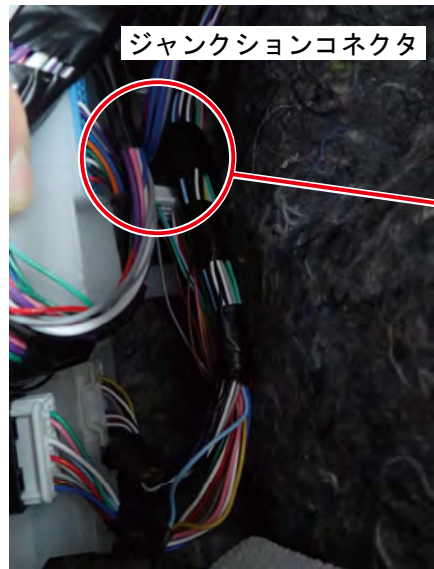
ワイパー部分を取外す  
※ 取外し方法は整備マニュアルを確認してください。

グロメット部分からハーネスを引き入れる

- ② 助手席の足元左側にあるカバーを外す。

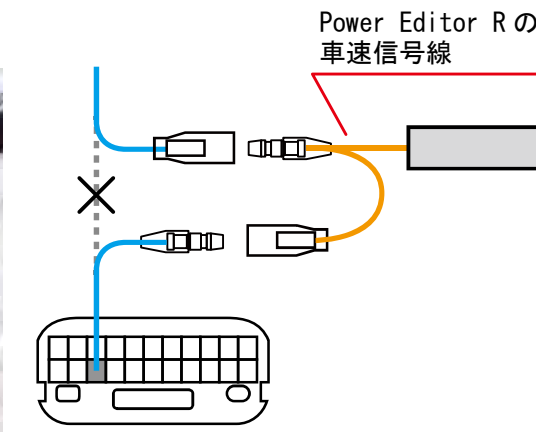
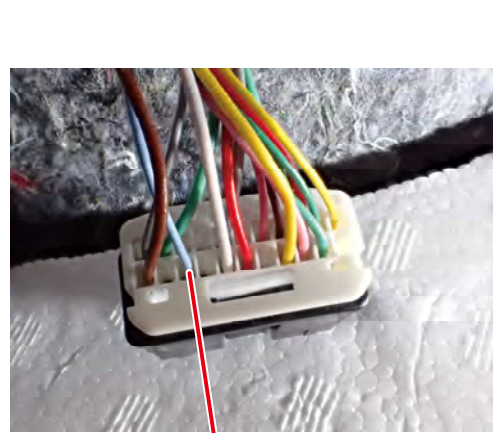


- ③ 車速信号線を配線するコネクタ（ジャンクションコネクタ）を作業ができる位置まで引き出す。  
・ 白い樹脂ブロックの奥にあるビニールテープで固定されたジャンクションコネクタのビニールテープを剥がし、作業ができる位置まで引き出してください。



※ ビニールテープを剥がす際、配線を傷つけないように注意してください。

- ④ ジャンクションコネクタの車速信号線を切断してギボシとスリーブを取付け、Power Editor Rの車速信号線を割込ませるように接続する。



車速信号線

ジャンクションコネクタ

## 11. 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合は、故障と判断する前に下記の症状と照らし合わせて、配線等の確認をしてください。  
チェックランプが点灯するなどの異常が発生した際は、Power Editor R本体を取外し同梱の復帰コネクタを取付けてください。

症状	原因	対応
復帰コネクタを使用した状態でもチェックランプが点灯する	コネクタが抜けかけている	各コネクタのロックが掛かる状態までしっかり差し直す
	ハーネスが断線している 又はコネクタの端子が接触不良を起こしている	Power Editor Rの検査を依頼する (お買い上げの販売店まで お問い合わせください)
Power Editor Rを接続している時だけチェックランプが点灯する 又はブーストが上がらない	Power Editor R本体が故障している	再度現車セッティングを行う
	書込んだセッティングデータが車両に合っていない	再度現車セッティングを行う
Power Editor R本体のLEDが点滅している	セッティングデータを書換え た際、正常に書込みが完了 しなかった	Easy Writer for Power Editor R を使用し、再度データを書込む

## 12. 異常・故障時の対応

### ⚠警告

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

### ⚠注意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、保証書に必要事項が記入・捺印されていることを確認し、修理を依頼してください。

## 13. アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、及び紛失部品等の購入、保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意等により修理が必要となった場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

## 14. 本製品の仕様

- 動作保証電圧 ..... DC5V~16V
- 動作可能温度 ..... -20~100°C
- 外形寸法 ..... 105×92×35mm

## 15. 用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。  
コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。  
ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。  
点検・整備 : 安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。  
日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。  
高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。  
例、エンジン本体や排気系部品の近傍。  
誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

## 16. 改訂の記録

Ver.	年 / 月	記載変更内容
3-1.01	2023/12	初版